

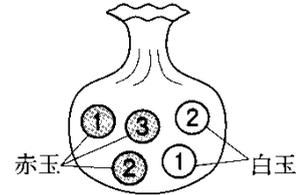
確 率 (県立入試出題問題)

氏名()

2008

下の図のように、袋の中に、1, 2, 3 の数字が1つずつ書かれた3個の赤玉と、1, 2の数字が1つずつ書かれた2個の白玉が入っている。この袋から玉を1個取り出して色と数字を調べ、それを袋にもどしてから、また、玉を1個取り出すとき、次の確率を求めよ。

(1) 白玉、赤玉の順に出る確率。



(2) 取り出された玉に書かれた数の和が4である確率。

2007

3枚の硬貨《こうか》を同時に投げるとき、それぞれの硬貨について、表ができれば2点、裏が出れば1点とし、3枚の硬貨の点数の合計を得点とする。3枚の硬貨を同時に投げるとき、得点が5点となる確率を求めよ。

2005

2つの袋 A, B があり、どちらの袋にもあたりくじが2本とはずれくじが4本入っている。このとき、次の確率を求めよ。

(1) 袋 A の中から同時にくじを2本ひくとき、あたりくじとはずれくじが1本ずつ出る確率

(2) 2つの袋 A, B のそれぞれの中から同時にくじを1本ずつひくとき、あたりくじとはずれくじが1本ずつ出る確率

2001

数字1, 2, 3, 4, 5が1つずつ書かれている5枚のカード[1], [2], [3], [4], [5]がある。この5枚のカードをよくきって、1枚ずつ2枚のカードを取り出し、取り出した順に右から並べて、2けたの整数をつくる。例えば、最初に取り出したカードに書かれている数字が2であり、次に取り出したカードに書かれている数字が3であるとき、できる整数は23となる。このようにしてできる整数について、いろいろな場合の確率を考える。次の例を参考にして、下の()にあてはまる場合のうち、1つを言葉で書け。

[例] 整数が5の倍数となる確率は $\frac{1}{5}$ である。整数が42以上となる確率は $\frac{7}{20}$ である。

()確率は $\frac{1}{10}$ である。

解答

2008 (1) $\frac{6}{25}$ (2) $\frac{8}{25}$

2007 $\frac{3}{8}$

2005 (1) $\frac{8}{15}$ (2) $\frac{4}{9}$

2001 (例)整数が 53 以上となる